

アントニオ猪木氏、仙台東部地区「闘魂米」で元気と気合いを注入する！

【農業振興部：仙台農業改良普及センター】



「ひとめぼれ」の苗を持ち「1, 2, 3, ダーッ」と気合いを入れるアントニオ猪木氏

5月24日、仙台市若林区六郷地区で、「元気ですかー!」でお馴染みの、参議院議員で元プロレスラーのアントニオ猪木氏が、JA全農みやぎ、JA仙台とともに「闘魂米育成プロジェクト」のスタートイベントを開催しました。

東日本大震災後4年が経過した今も復旧途中の仙台東部地区において復旧復興を加速させるため、猪木氏はプロレス団体「イノキ・ゲノム・フェデレーション」のレスラーの皆さんとともに、農事組合法人井土生産組合を訪れ、「こぶし」の木を記念植樹した後、1ha区画の水田に、地元住民の方々や子供たちと一緒に15cmほどの元気に育った「ひとめぼれ」の苗を丁寧に植え付けました。

猪木氏は住民の皆さんに声を掛けながら握手をしたり、全ての写真撮影にも快く応じてくださり、おかげで賑やかで楽しい

田植えになりました。井土生産組合の鈴木組合長は「本当にありがたい。このお米を責任持って育てて、全国の皆さんに復旧が進んでいることを報告したい」と話していました。秋に収穫されたお米は「闘魂米」として全国に売り出す予定になっています。

身近なところでがんばっています！～みやぎ農業未来塾～

【農業振興部：巨理農業改良普及センター】

5月19日、巨理農業改良普及センター(以下、巨理普及センター)主催で、山元町を会場に新規就農者を対象とした野菜ほ場の相互視察研修会を開催しました。

巨理普及センターでは、「みやぎ農業未来塾」として、就農しておよそ5年以内の、主に葉菜類などの栽培に取り組む新規就農者(岩沼市内3名、山元町内3名)を対象に、技術向上と交流を目的とした情報交換会や研修会を平成26年12月から開催しています。平成27年度からは講義形式の研修会に加え、新規就農者のほ場をお互いに訪問する相互視察研修会を開催しており、4月の岩沼市に続き今回で2回目の開催となりました。当日は、山元町の新規就農者のレタスなどの野菜のほ場を巡回しながら、それぞれの新規就農者から栽培状況や課題について話していただき、研修会参加者全体で今後の栽培管理などの検討を行いました。

視察先では今後の栽培管理の改善策などについて活発な意見交換が行われ、新規参入した方には、気候に合った品目・品種選定や農地の特性を考慮した肥培管理技術の習得の重要性が理解されました。

巨理普及センターでは、今後も新規農業者の経営安定に向けたきめ細かな支援を継続していきます。



課題について検討する様子

仙山交流味祭に「宮城の海苔 味くらべ」ブースを出展しました

【水産漁港部】



7つの浜の自慢の海苔

海苔(のり)と言えば、食卓には欠かすことができない食材ですが、仙台湾が全国有数の養殖海苔の産地であることはあまり知られていません。親潮と黒潮が交わる宮城の海は、世界三大漁場にも数えられる豊かな海であり、海苔の養殖にも大変適しています。

6月10日～11日に開催された「仙山交流味祭 in せんだい～春の恵み～」では、そんな宮城の海苔のおいしさと、産地による味の違いを知っていただくため、県内7つの浜(矢本、鳴瀬、宮戸、宮戸西部、浦戸、七ヶ浜、巨理)から自慢の海苔を集め、「味くらべ」をしていただくブースを出展しました。

イベントでは両日とも暑い中多くのお客様にご来場いただき、各浜自慢の様々な風味や食感の海苔が並ぶ中、みなさん食べ比べをしながら、好みの海苔を見つけていただいた様子でした。

味くらべコーナーの隣では、県内6組の海苔養殖漁師さんが手がける海苔製品の直接販売も行われ、焼き海苔、味付け海苔などの商品が売り場を賑わし、売り切れの商品が出るなど大盛況となりました。

売る側の漁師さんも、「昨年も買って美味しかったから、今年も買いに来た」といったお客様の生の声に触れ、手応えを感じていたようです。



来場者で賑わう味くらべコーナー

夏休みは仙台・松島エリアへ! ～夏の観光キャンペーン開催中～

【地方振興部】

仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会(以下、協議会)では、7月1日～9月30日までの3か月間、観光キャンペーン「仙台・宮城【伊達な旅】夏キャンペーン2015」を開催しています。宮城県ではこれまで「春」「秋」のキャンペーンは開催してきましたが「夏」のキャンペーンは今回が初めての開催です。キャンペーン期間中は、仙台地域を含む宮城県内各地で、夏の観光を盛り上げる様々なイベントなどが行われます。

協議会仙台地域部会(事務局:地方振興部)でも仙台地域の14市町村と近隣の山形県天童市が連携して、観光キャンペーンの連動企画として「仙台・松島エリア」の夏の観光情報をPRする「観光誘客キャラバン」を開催していきます。7月4日(土)イオンモール富谷で開催したキャラバンでは、仙台・松島エリアの人気のご当地キャラクターも集合し、ご家族連れのお客様でにぎわう中、夏休みの時期にもぴったりの観光情報、エリアの魅力をたくさんご紹介したほか、仙台・松島エリアの観光情報満載の「仙台・松島エリアガイドブック」と地元のおみやげのプレゼントも数量限定で配布しました。キャラバンは7月中に2回開催予定です。今年の夏はぜひ、仙台・松島エリアのとおきのおきの観光情報を手に入れて、エリアガイドブックを片手に仙台・松島エリアで楽しい夏休みを過ごしてみてください。



ご当地キャラクターも大集合!

《これからの観光誘客キャラバン開催日程、会場》

7月18日(土)イオンモール利府

7月28日(火)、29日(水) JR仙台駅

仙台・宮城元気ニュース[2]

近年、イノシシやニホンジカ等の野生動物による農作物被害や森林被害が増加し、いかに野生動物と良好な関係を築くかが大きな課題となっています。

このような中、平成19年5月に野生動物と人との共存を目指して設立された合同会社東北野生動物保護管理センター(以下、「センター」)宇野壮春代表にお話を伺いました。センターでは、野生動物の被害対策や個体数の管理に役立つ、中型・大型野生動物の数や生態に関する調査・研究を行っており、宇野氏は学生の頃からサルの保護管理に関する調査や研究に携わり、現在、被害対策の指導や野生動物に関する講演・調査・計画策定などに取り組んでいます。



ニホンザルの調査を行う宇野壮春氏

宇野氏によると「私たちの暮らしている里山は、野生動物にとって、雪が少なく食料も豊富でとても魅力的なところです。野生動物は食べて良いもの、ダメなもの、住んで良い場所、ダメな場所の区別はできませんので、両者の良好な関係は人間側から作っていくしかありません。その関係を築くことは現実として非常に難しいのですが、より可能に近づけるには、私たちの日々の意識と、動物側からの視点が必要になります。それができれば、私は野生動物が何頭いようが構わないと思います」とのこと。更に、具体的事例として、宇野氏が学生時代から関わっている仙台市のニホンザルについては「平成16年と比較して倍以上に数が増えているにもかかわらず被害が減っています。不思議な話です。これには、実効性のある計画を策定した仙台市と地元猟友会の活躍が欠かせませんでした」とも話しています。

林業振興部では、今後とも野生動物と人との良好な関係を目指して宇野氏への支援にあたっていきます。

復旧・復興に向けての頼もしい仲間！～派遣職員の方々は本年度も元気に頑張っています～
【農業農村整備部】

農業農村整備部では、東日本大震災で大きな被害を受けた農地・農業用施設の復旧や、水田の大区画化による生産性・収益性向上に向け、現在も復旧・復興に向けて全国の自治体から多くの応援を頂き、日々業務に取り組んでいます。

震災から5年目にあたる本年度も、宮城県には農業土木技術者46名が派遣されており、仙台地方振興事務所にも北は北海道から南は高知県まで17都道府県から32名の方が応援に来てくださっています。



復興事業により整備された農地

派遣職員の方々の高い技術力と豊富な経験により復旧・復興事業

は急ピッチで進められており、平成27年3月末時点で、早期の営農再開に向けた除塩による農地復旧は、津波浸水農地(8,390ha)のうち、90%(7,559ha)が完了しました。また、競争力のある大規模農家を育成するための大区画ほ場整備を行う復興事業については、対象農地面積(3,245ha)のうち、77%(2,499ha)の農地で工事に着手し、970haの農地を農家の方に引き渡しを行いました。



派遣職員の方達と記念撮影

農業農村整備部では、派遣職員の方々の力強い応援を受けながら、本年度中で概ね工事を完了することを目指し復旧・復興事業に取り組んでいます。

■さわやか夏の味覚！とみやブルーベリースイーツフェア■

日時：7月11日(土)～31日(金)

場所：富谷町内フェア参加店 10店

・菓子処いさわ屋(富谷字町)・ケーキハウス白いオルゴール(日吉台二丁目)・ばにら・びーんず(日吉台二丁目)・お菓子のアトリエ・ムー(成田四丁目)・マッフェン明石台本店(明石台五丁目)・ガトーノザキ(富ヶ丘四丁目)・ニンナ・ナンナ(上桜木一丁目)・餅よし(富ヶ丘二丁目)・石窯パン工房パンセ富谷本店(成田八丁目)・牛たん炭焼利久富谷あけの平店(あけの平一丁目)

内容：町内のフェア参加店が富谷町の特産品のブルーベリーを使い、趣向を凝らしたオリジナルスイーツを販売します。

☎富谷町企画部産業振興課 Tel：022-358-0524

■山ゆりまつり■

日時：7月12日(日)～27日(月) 午前9時～午後4時30分

場所：大衡村昭和万葉の森(大衡村大衡字平林 118-1)

内容：赤松林の下には大輪の花を咲かせるヤマユリが群生しており、例年7月上旬から咲き始め、多くの来場者で賑わっています。甘い香りに包まれながら初夏の園内を散策できます。

☎昭和万葉の森管理事務所 Tel：022-345-4623

■浦戸桂島海水浴場オープン■

日時：7月18日(土)～8月16日(日) 午前9時～午後4時

場所：塩竈市浦戸桂島海水浴場

内容：東日本大震災後、昨年から再開しました！シャワー、脱衣所、仮設トイレ、海の家も整備され、島の夏を存分に楽しめます。

☎塩竈観光物産案内所 Tel：022-362-2525

■仙台七夕まつり■

日時：8月6日(木)～8日(土)

場所：仙台市中心部および周辺商店街

内容：伊達政宗公が文化向上のために奨励したのが始まりとされ、今や東北三大祭りの一つになった「仙台七夕まつり」。趣向を凝らしたきらびやかな七夕飾りが市内全域を彩ります。

☎仙台七夕まつり協賛会(事務局：仙台商工会議所) Tel：022-265-8185

■仲道郁代ピアノリサイタルベートーヴェン全曲集第7弾■

日時：8月23日(日) 午後2時～

場所：七ヶ浜国際村(七ヶ浜町花淵山大山 1-1)

内容：全8回公演の第7弾。ピアノの持つ表現能力の可能性を極限まで追求した作品をお楽しみください。

☎七ヶ浜国際村 Tel：022-357-5931

★ 読者の皆さまからのたくさんの明るい情報をお待ちしております！
問合せ先：宮城県仙台地方振興事務所地方振興部(担当：山本)
TEL:022-275-9140 FAX:022-275-0296 (E-Mail) sdsinbk2@pref.miyagi.jp
(HP) <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sdsgsin-e/>
※次号は8月下旬発行予定です。